

2009

広報

おばま 12

《表紙》

宮川保育園の園児28人が落花生掘りをしました。年長児が引っこ抜き、その後、みんなで落花生をもいでいきました。落花生は、塩ゆでにしたり、炒めたりしておやつの時間においしくいただきました。

(11月4日)

【特集】平成21年度 市長表彰・文化奨励賞

平成21年度

市長表彰・文化奨励賞



平成二十一年度の小浜市長表彰、文化奨励賞の受賞者が決まり、十一月三日、文化会館で表彰式が行われました。

市長表彰は四個人・二団体、奨励賞は四団体、文化奨励賞は三個人・一団体の皆さんです。

市長表彰は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を各種団体会で審議、選定されます。

文化奨励賞は、市や関係団体から推薦された候補者・候補団体を教育文化に関する各種団体長で構成する小浜市文化奨励賞選考委員会で審議、選定されます。

■問い合わせ 総務課 内線353
教育総務課 内線422

産業振興功労

昭和63年に発足以来、21年にわたり海外、全国の主要漁港や加工産地を視察し、関連諸問題を検証してこられました。

また、水産加工業の新たな活路開拓ビジョンを策定するとともに市内の他産業との交流を通じ、産業発展や観光振興に尽力されました。



わかさ かい
若狭とびうお会

産業振興功労

昭和43年から陶器小売業の経営に専念するとともに、同63年から小浜駅通商店街振興組合理事、理事長を歴任されました。

また、平成14年からは小浜商店街連盟の副会長、会長として消費者に親しまれる商店街作りに携わり、商店街の活性化に貢献されました。



ますごう みよし
榊郷 三好 さん
(小浜竜田・62歳)

防犯功労

昭和51年から33年にわたり、市防犯隊員として地域防犯活動を積極的に推進し、市民の日常生活の安全と平穩の確保に寄与されました。平成15年からは市防犯隊長として隊の業務運営や隊員の指導育成に努めるとともに防犯パトロール、防犯教室の開催を通して安心で安全なまちづくりに尽力されました。



みやがわ まさゆき
宮川 正行 さん
(湊・62歳)

産業振興功労

昭和33年にプラスチック加工メーカーとして設立、平成元年に小浜工場を建設され、以来20年にわたり本市における雇用の創出、産業発展に大きく貢献されました。



いずみ かぶしがいいしや
泉ケミカル株式会社

奨励賞

平成9年に設立以来、「食と文化の交流フェア」や「若狭おばま活性化イベント」の企画、運営に携わり、若狭の食の情報発信をされています。

また、地域の逸品を広く紹介する「ええもんづくし」事業や機関誌の発刊を通して小浜のPRと食文化伝承に寄与されています。



みけつくにわかさくらぶ
御食国若狭倶楽部

奨励賞

平成16年に設立以来、御食国若狭おばま食文化館内外を季節ごとの花で装飾して美化に努めるほか、食文化館の運営全般のサポーターとして活躍されています。

また、へしこの漬け込み体験や茶葉を摘んでの釜いり茶作りなどを通して、市民へ伝統食の見直しと普及に取り組まれています。



かけはしサポーター

産業振興功労

昭和40年に大手鉄材工業株式会社を設立され、以来今日まで産業経済の発展に努力されました。同56年からは福井県建設鉄工協同組合の役員を歴任され、鉄骨加工業界の地位向上に尽力されました。

また、小浜商工会議所の常議員として雇用の創出など、市の産業活性化に寄与されました。



たにぐち たけし
谷口 剛 さん
(尾崎・67歳)

自治振興功労

平成12年から同21年まで、小浜市固定資産評価審査委員会委員を3期9年務められました。その間、委員長、委員長職務代理者の重責を果たされ、固定資産評価のいっそうの適正化、公平性の確保に尽力されるなど、市の固定資産評価審査委員会の運営に大きく貢献されました。

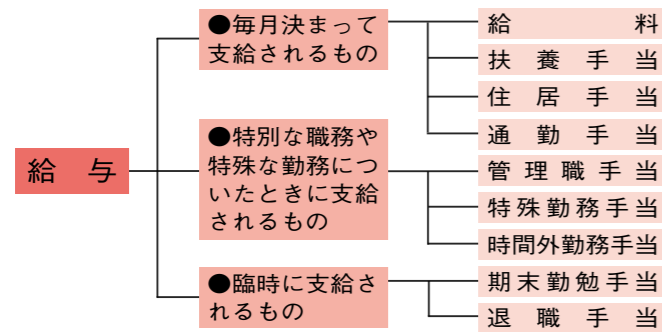


やまもと いわお
山本 岩夫 さん
(上野・67歳)

奨励賞... さん新たな発想や特色ある活動により、まちづくりや産業振興への貢献度が特に顕著であると認められる個人や団体を表彰します

市長表彰... 政治、経済、教育文化などで市政振興に寄与され、市民の模範となって活躍された個人や団体を表彰します

一職員給与の仕組み一



一給料と手当一

●一般行政職員の経験別、学歴別平均給料月額

経験年数	10～15年	15～20年	20～25年
大学卒	266,200円	306,700円	356,900円
高校卒	231,800円	274,300円	319,500円

●一般行政職員の学歴別初任給

	小浜市	国
大学卒	161,600円	172,200円(Ⅱ種)
高校卒	140,100円	140,100円

●職員の平均給料月額と平均年齢

	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	334,300円	43歳8カ月
技能労務職	320,200円	56歳5カ月

●期末、勤勉手当

	期末手当	勤勉手当	計
6月	1.4カ月	0.75カ月	2.15カ月
12月	1.6カ月	0.75カ月	2.35カ月
計	3.0カ月	1.5カ月	4.5カ月

●退職手当

	自己都合退職	勸奨・定年退職
勤続20年	23.5カ月	30.55カ月
勤続30年	41.5カ月	50.7カ月
最高限度額	59.28カ月	59.28カ月

●特別職の報酬、手当

	月額	期末手当
市長(特別条例)	920,000円(828,000円)	6月…1.6カ月 12月…1.7カ月
副市長(条例附則)	750,000円(705,000円)	
議長	440,000円	
副議長	370,000円	
議員	350,000円	

※市長は平成20年10月1日から同24年8月4日(任期満了)まで特別条例により10%を減額
副市長は平成21年1月1日から同24年9月30日(任期満了)まで条例附則により6%を減額

●通勤手当

	金額
交通機関利用の職員	6カ月の定期額を一括支給
通勤距離が2*以上	2,000円～24,500円

職員給与の公表

平成21年4月1日現在の給与の状況、職員数と人件費を公表します。職員の給与および定員については、「小浜市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき、その詳細を市公式ホームページで公表しています。

■問い合わせ 総務課 ☎内線354

※市職員に支給される給与は、地方自治法と地方公務員法に基づき、市議会の議決を経て市の条例で定められています。

●扶養手当

	金額
配偶者	13,000円
配偶者以外の扶養親族	6,500円

●住居手当

	金額
持ち家に居住(新築から5年間)	2,500円(世帯主のみ)
借家に居住	限度額27,000円

●特殊勤務手当

危険、困難な職務についたときに支給。手当は9種類

一給料と手当一

●職員給与費(平成21年度当初予算)

	金額
給料	13億3,800万円
職員手当	7億1,850万円
計	20億5,650万円
1人当たりの給与費	619万円

●部門別職員数(各年4月1日現在)

	職員数		
	平成19年	平成20年	平成21年
一般行政関係	260人	253人	238人
特別行政関係	52人	48人	49人
公営企業関係	40人	41人	41人
計	352人	342人	328人

●職種別職員数(平成21年4月1日現在)

	職員数
部長、部次長、課長、主幹	60人
課長補佐(保育園長含む)、企画主査	120人
主査、主事、保育士など	125人
技能労務職	23人
計	328人

●人件費(平成20年度普通会計決算額)

歳出額(A)	人件費(B)	人件費率(B/A)
142億4,265万円	29億4,540万円	20.7%

奨励賞

平成20年に設立以来、オバマ米国大統領と小浜市が同じ「OBAMA」の名前を共有している縁から、オバマ氏応援によるまちづくり活動に取り組みられました。オバマガールズのフラダンスなどによりオバマ候補を応援するとともに、本市の観光情報をマスコミなどで世界中に発信されています。



かつてオバマを勝手に応援する会

文化奨励賞

昭和52年に民謡教室を開講されて以来、各地区に出向き婦人会を中心に踊りの指導をされています。また、平成15年にはサークル名を「おどりボランティアなでしこ」に改名され、各施設の訪問、各種イベントに積極的に参加されるなど、地域文化の普及と伝承に大きく貢献されています。



おばた みさこ 小畑 美佐子 さん (多田・68歳)

文化奨励賞

昭和35年以来、卓越した菊作りの技術を生かし、毎年、菊花展を開催されています。また、長年にわたり各地区の公民館で菊づくり講習会を開催し、菊づくりの指導を行うなど、文化的で豊かなまちづくりに貢献されています。



おばましきくゆうかい 小浜市菊友会

文化奨励賞…

科学、教育、文学、芸術、歴史などで著しい業績をあげ、文化振興に寄与された個人や団体、または将来の活躍を期待される個人や団体を表彰します

奨励賞

平成13年から現在までの9年間にわたり白鳥海岸の砂浜整地や真珠浜海岸の清掃に尽力されています。また、小浜展望台や1号支線の草刈り奉仕作業で、観光施設の維持管理や観光客の誘客に大きく貢献されています。



しゃだんほうじん 社団法人 おばましけんせつぎょうかい 小浜市建設業会

文化奨励賞

昭和53年に歌謡舞踊サークル「もみじ会」を結成され、30余年にわたり会の運営、演舞指導などに中心的な役割を果たしてこられました。また、市内各地へ出向き舞台発表や振り付け指導を行うなど、地域での文化芸能の普及と振興に大きく貢献されています。



にしもと よしえ 西本 良江 さん (須縄・78歳)

文化奨励賞

優れた音楽技術(作曲、編曲、演奏)を生かし、市関連のさまざまな事業に参画、協力されています。音楽は世界共通のものという認識の下で人とのつながりを大切に音楽文化活動を続けてこられ、今後の活躍がますます期待されます。



おばた みさこ 小畑 幹子 さん (三分一・42歳)

第15回 小浜まち景観賞

小浜まち景観賞 受賞物件 《活動部門》

松永癒しの里 ビオトープ (三分一)



ビオトープ…生き物が生息できる環境を整える地域

松永川のほとり静かな山間に、手作り感あふれるビオトープとあずまやが松永川流域の環境を良くする会（8団体）の活動で整備されました。完成後は、魚や川ニナなどを子ども会と協力して放流しました。自然との共生、学びの場としての活用を目指しています。あずまやは、近接する明通寺の三重塔をモチーフとして、設計から施工まで地域のマンパワーで整備されました。豊かな自然環境を十分に生かし、未来を担う子どもや地域住民の憩いの場として、地域一丸となった活動が、高い評価を受けました。

高速道路 芝桜 (生守)

この活動は、生守区の有志で作るサークルこぶしによるものです。

平成20年ごろから洞源寺に近接する舞鶴若狭自動車道ののり面に約三万株の芝桜が、200㎡以上にわたって植えられています。多い時には、50人以上がこの活動に参加して、生守から野代までの山を花でいっぱいにしていたそうです。ピンク色と白色の芝桜が作る華やかな美しさとスケールの大きさが印象的で高い評価を受けました。



一門一灯 (小浜西部地区)

この活動は、小浜西組町並み協議会の地域活性化部会によるものです。

伝統的な町並みに対する住民意識を今まで以上に高めることを目的に、各住宅の玄関に手作りのオリジナル照明を設置し、夜の歴史的な町並みを幻想的に演出します。

この活動のユニークさと併せて、小浜西組マスタープランの作成など、地域が一丸となり内容の濃い活動が行われている点も高く評価されました。



魅力あるまちづくりを目指し、景観上優れた建造物や景観の維持向上に努めている団体、個人を表彰する「小浜まち景観賞」。今回は建造物部門に11点、活動部門に9点の応募があり、次の5点の受賞が決まりました。

受賞物件を12月7日(月)から18日(金)まで市役所1階ロビーに展示します。ぜひご覧ください。

■問い合わせ 都市整備課内小浜まち景観賞事務局 ☎内線247

小浜まち景観賞 受賞物件 《建造物部門》

町家ギャラリー ^{せのすいかん} 栖水館 (小浜酒井)



この建物は、住吉・酒井区の住民自身が協定を作り自主的にまちづくりを進めている地域に建てられました。築150年の商家を再生した建物で、道路拡幅分を取り壊し、後ろの部分はそのまま残して改修をしています。三層に重なる水平に延びた軒と、濃いベンガラ色と白壁のコントラストが外観デザインにメリハリを与えています。また、駐車場の出入り口に屋根付きの格子扉を設け、町並みをそろえるための配慮をしています。

観光客や市民にギャラリーとして開放するなど、施主のまちづくりに対する深い思いが伝わってくる点が高く評価されました。



矢持邸 (小浜酒井)

この建物も自主的にまちづくりを進めている地域に建てられました。

若い世帯が既存の建物を取り壊して新たに建て替えられた住宅ですが、周囲の町並みとの調和に配慮し、ベンガラ、白壁と格子を基調とした落ち着いたデザインの建物に仕上がっています。玄関と窓のある外壁の前面に4本引きの格子戸を設けることで、格子をモチーフとした統一感のある外観を作っています。

また、屋根瓦など、細部にもこだわりを感じるデザインが施されています。

